

心 動 不 動

令和 3 年 3 月
第 6 2 号
発行 普 照 院

この度、新型コロナウイルスの感染収束を願い、当寺院に平成 22 年より鎮座されている「樽地蔵尊」のお札を配布させていただくことにしました。

新型コロナの影響で、お寺の世界でも各地で例年の様々な行事が見送られています。皆様も日常生活で自粛が強いられる中、「お寺ができることで皆さんの気持ちを少しでも和らげ、一日も早く感染が収束し、元の生活に戻ってほしい。」との思いで、今回のお札を製作しました。(下写真は、本堂で勤修した御札祈願法要)



このお札は、お仏壇の中でお祀りしていただくか、もしくは建物入り口部（玄関など）でなるべく高い場所に置いて下さい。お水やお仏飯などのお供えをする必要はありません。また壁に貼る場合などは、両面テープ等をご使用下さい。押しピンのような金属を使用することは、あまりお勧めできません。そしてこのコロナウイルス感染が収束した際は、お寺へご返納下さい。

今後も様々な各種御祈願等もお勤めさせていただきますので、ご希望があれば法事をお申込みいただく際と同じように、お寺にご連絡下さい（祈願例：学業成就、無病息災、災難厄除、商売繁盛 など）

なお最後になりましたが、本年の春彼岸諸行事は、昨年以上に感染対策をした上で勤修致します。皆様もご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

〔普照院の樽地蔵様〕

当寺院の本尊様と共に大切にお祀りされている「樽地蔵」様です。このお地蔵様は、酒樽の上に祀られています。

歴史) 昔、今の明石市近辺にお酒の大好きな「彦兵衛」さんという方がおりました。彼はとても真面目な人だったのですが、間違ってお殿様に成敗されてしまいました。後にそれを知ったお殿様が反省し、彦兵衛さんの供養のため、このお地蔵様を祀られたそうです。

その後、戦前までは現在の三菱重工(神戸市兵庫区)敷地内でお供養されていたのですが、戦後重工拡充のため時宗薬仙寺へ移動、さらに平成になって同寺境内整備により、普照院へ転座されました。(右上写真〔平成 22 年〕:樽地蔵尊の樽の裏側です。彦兵衛の名が右側より彫刻されています。普段は見ることはできません。)



【令和3年のお寺行事（予定）】

月	日	行事	内容
3月	20日	春彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	23日	春彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
4月	8日	釈迦生誕祭(花祭り)	花見堂を設置しております。随时お参り下さい。
8月	7日	盆墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	16日	盆施餓鬼	午後2時より、本堂にて。
		・初盆精霊供養法要	併せて本年の初盆精霊をお供養します。
23日	地藏盆【地域行事】	午後6時より、本堂地藏尊前にて。	
9月	23日	秋彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	26日	秋彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
12月	8日	成道会・永代塔納骨供養	舞子墓園 当寺院永代供養塔前にて。
	27日	歳末墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。

*変更等がある場合は、後日ご連絡させていただきますので、ご容赦下さいませ。

月参法要会を、毎月1日午前11時よりお勤めしております。

お命日参りや法事を行いたいが、コロナ禍でそれが難しい方など

大事な故人様やご先祖様をお供養したい時に、気軽にお申込み下さい



本堂定期補修ご寄付の経過報告 : 2月25日時点 - 3,820,000円

ご協力いただき誠にありがとうございます。現在鉄柵部保護塗装を完了し、残る作業は本堂外壁部防水塗装工事のみとなりました。その残り工事は、本堂建物の状況を見ながら5～6年後に施工予定です。何卒宜しくお願い申し上げます。

〔編集後記〕これからは『パソコンやスマートフォンでもお寺と繋がる時代』と考え、住職と直接連絡の取ることができる「LINE」と「facebook」へのアクセス方法を今回は別紙にて紹介させていただきました。もし分からなければ、私にご連絡いただくかお子さんやお孫さんに聞いてみて下さい。またこれまで通り、携帯電話やメールで連絡を取っていただいても構いません。

(緊急のご連絡は、必ず電話をご利用下さい。)

合掌

発行：[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyojin.com/>



普照院

検索



←左のバーコードをスマホの写真モードでのぞきこんでいただくと、
普照院のホームページにアクセスできます。